

桜



応援歌練習



体育大会



共通テスト100日前ガイダンス



令和4年度ASMSA派遣団



学びの祭典



桜雲祭歓迎看板
~かつての体育祭マスコット
看板を模して~



UP花巻



創立100周年に向けて



高総体陸上部



桜雲祭ステージ



修学旅行

第65号
 発行
 岩手県立花巻北高等学校
 桜雲同窓会事務局
 TEL 0198-23-4135 FAX 23-1354
<http://www2.iwate-ed.jp/hkn-h/>
 印刷 (株)菊忠印刷



イーハトーブ花巻から 世界へ、宇宙へ

桜雲同窓会長

佐藤 良介

同窓生の皆様には益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

日頃は、本同窓会の活動につきまして温かいご理解とご支援ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年もコロナ禍により、同窓会活動は思うようにはできませんでしたが、六月には京都において関西桜雲同窓会総会、七月には石鳥谷支部総会、十月には東京桜雲会総会がそれぞれ3年ぶりに開催されました。コロナ感染防止対策を講じての開催でしたが、多くの同窓生の出席を頂き、母校を懐かしみ、なごやかに歓談しておられました。

現在母校花巻北高では、来るべき百周年に向けて「百年生きる君たちが花高百年の学びを創る」をテーマに、特色化・魅力化ビジョンに取り組んでいます。

その教育目標は「りっぱな公民をつくること」であり、「民主的、平和的な国家・社会の有為な形成者として、時代の変化に対応した未来を創るリーダーの育成」を掲げています。

人間力の育成の中で「イーハトーブ花巻から宇宙へ」をテーマに、スペースプロジェクトに取り組んでいます。二〇二四年独自のミッションを持った衛星の打ち上げまでの二年間のカリキュラムの中で、宇宙飛行士（これからの社会に貢献する人材）に求められる資質・能力を育成することとしています。

どのような成果が挙げられるのか、大いに楽しみであります。

また、姉妹校であるASSMSA（アーカンソー数理芸術高校）との交流についても、コロナ禍により三年間生徒の派遣を中止しております。

だが、本年三月には六名の派遣を計画しております。これにより、グローバル化に対応できる広い視野を持った人材の育成がなされることを期待しております。

さて、本年は宮沢賢治没後九十年に当たります。昭和六年四月に本校が開校しましたが、その二年後の昭和八年九月二十一日に宮沢賢治は三十七才の生涯を終えました。

今年の五月には、門井慶喜原作直木賞作品「銀河鉄道の父」が映画化され、全国で公開されます。

生前全国的に無名であった宮沢賢治を初めて評価したのが、草野心平と高村光太郎でした。

本校の前庭には、賢治と光太郎を顕彰する出会いの広場があります。

高田博厚作の高村光太郎の胸像と、草野心平書の宮沢賢治の碑が向かいあって建っています。

是非この機会に母校を訪れて頂きたいと思っております。そして、「世界がぜんたい幸福にならないうちは個人の幸福はあり得ない」と世界の平和と幸福を希求した賢治の世界に思いを馳せて頂ければと思います。

長引くコロナ禍、ロシアのウクライナ侵攻など厳しい環境の中にありますが、在校生は前向きに明るく自分の目標に向かって、勉学に部活動に取り組む、文武両道を実践していきます。

定期総会報告

令和四年度の桜雲同窓会定期総会は、令和四年八月六日(土)十四時から、ホテルグンシエール花巻において開催されました。来賓に花巻市長、校長、副校長、事務長、花巻南高校同窓会長、花巻北高校PTA会長・副会長をお迎えし、同窓生約四十名の参加を得て行われました。今年度もコロナ対応で、同窓生の人数は制限いたしました。

令和四年度国際交流事業積立金収支予算(案)について
令和四年度百年の学び基金収支予算(案)について
役員改選について
協議事項は、すべて議案書どおり承認されました。なお、⑪につきましては、別表のとおり再任・新任されました。

①令和三年度事業報告について
②令和三年度一般会計収支決算について
③令和三年度周年事業積立金決算について
④令和三年度国際交流事業積立金収支決算について
⑤令和三年度百年の学び基金決算について

⑥令和四年度事業計画(案)について
⑦令和四年度一般会計収支予算(案)について
⑧令和四年度周年事業積立金収支予算(案)について

○支部総会開催状況
関西支部 六月四日
石鳥谷支部 七月二十九日
東京支部 十月二十三日

令和4・5年度 桜雲同窓会役員

役職名	氏名(期)
会長	佐藤 良介(33)
副会長	高橋 光彦(34)
副会長	上田 穰(36)
副会長	斎藤 雅博(36)
副会長	狩野 敦史(37)
副会長	古川 勉(38)
副会長	稲垣 秀悦(40)
副会長	伊藤 純子(41)
副会長	北山 公路(43)
副会長	菊池 忠彦(44)
副会長	太田 優子(44)*
副会長	小瀬川 弘樹(49)*
顧問	上田 東一(37)
顧問	須川 和紀(校長)
監事	高橋 勝芳(28)
監事	宮澤 一郎(30)
監事	高橋 文一(39)

*印は新任の役員

令和4年度桜雲同窓会一般会計収支予算書 令和4年6月1日～令和5年5月31日

Table with columns: 項目, 前年度予算額B, 本年度予算額A, 増減A-B, 備考. Includes sub-sections for income and expenses.

(※1):<収入の部>の「入会金」より688名×100円×10回=688,000円を充当

令和3年度桜雲同窓会一般会計収支決算書 令和3年6月1日～令和4年5月31日

Table with columns: 項目, 予算額A, 決算額B, 増減B-A, 備考. Includes sub-sections for income and expenses.

収入 支出 残高
¥17,501,981 - ¥15,700,475 = ¥1,801,506 残額は、次年度へ繰り越す。

令和4年度桜雲同窓会国際交流事業積立金収支予算書

令和4年6月1日～令和5年5月31日

Table with columns: 項目, 前年度予算額B, 本年度予算額A, 増減A-B, 備考. Includes sub-sections for income and expenses.

※令和4年12月22日の臨時役員会において、300,000円の追加補助が決定。

令和3年度桜雲同窓会国際交流事業積立金収支決算書

令和3年6月1日～令和4年5月31日

Table with columns: 項目, 予算額A, 決算額B, 増減B-A, 備考. Includes sub-sections for income and expenses.

収入 支出 残高
¥4,501,674 - ¥0 = ¥4,501,674 残額は、次年度へ繰り越す。

桜雲同窓会支部長

Table with columns: 支部, 氏名(期). Lists branch heads for various regions like 東和, 石鳥谷, etc.

※宮野目支部、北上支部は活動休止中。

講演会 令和4年8月6日(土)



演題 「IBCのこれから」
講師 眞下卓也氏(46期)
(株)IBC岩手放送代表取締役社長

花巻市出身。1986年、(株)IBC岩手放送入社。営業本部東京支社長、放送本部編成局長、取締役放送本部長放送本部編成局長、取締役メディア放送本部長メディア放送本部編成局長を経て、2020年、常務取締役メディア放送部長メディア放送本部編成局長を務めた。2022年、代表取締役社長に就任。

概要

東日本大震災時、ラジオ放送の強さを視聴者から高く評価された。東北各県でのラジオ利用率は40%を超えた。2014年、IBCは被災地発のスマートフォンアプリとして「IBCつながるアプリ」を開発。2021年には新機能として「キキクルONハザードマップ」を公開。

AMラジオを運営する民法放送局は、ピーク時より営業収入が減少しており、放送を続けながら、AM放送の大規模送信施設を更新していくのは困難である。日本民間放送連盟から総務省への要望で、AM放送からFM放送への転換や両放送の併用を可能とする制度の整備が求められている。





世界で一番宇宙に近い 高校生になる

校長 須川 和紀

桜雲同窓会の皆様、四月からお世

話になつております校長の須川和紀と申します。日頃より本校の教育活動に対して多大なるご協力とご支援を賜り誠にありがとうございます。今年度は六月の関西桜雲会を皮切りに七月の石鳥谷支部総会、八月の桜雲同窓会総会、十月の東京桜雲会にもお招きいただきありがとうございます。

ます。

昨年度、創立九十周年の節目を迎え、今年度は百周年に向け、新たなスタートを切ったところです。花高百年の学び改革は、「百年生きる君たちが花高百年の学びを創る」のキャッチフレーズのもと、「学ぶ力の育成」に力を入れて進めております。特に、県の支援を受け、ICTを活用した生徒主体の学びへの転換や県の探究プログラム(県版SSH)モデル校としても総合的な探究の時間(EXACT:ハクト)の充実、授業における教科横断的なSTEAM教育・科学(Science)、技術(Technology)、工学(Engineering)、芸術、リベラルアーツ(Arts)、数学(Mathematics)の5つの領域を対象とした理数教育に創造性教育を加えた教育や長期休業中の発展的・横断的な学び(学びの祭典)にも取り組みを深めてい

ます。現在、花高での大規模な活動は、今年度から二年計画で進めているスペースプロジェクト(宇宙プロジェクト)です。花高生が衛星開発から打上、運用までを体験したり、衛星開発の第一人者や宇宙飛行士の講演を聴いたり、タンパク質結晶化実験を通して、宇宙実験の重要性を学んだりしながら、「世界で一番宇宙に近い高校生」として全校あげて貴重な経験を積んでいます。タンパク質結晶化実験に関しては、昨秋に本校地学実験室で準備した実験サンプルがJAXAを通じてNASAに送られ、十一月二十七日早朝にフロリダケープカナベラルから打ち上げられたSpaceXロケットで国際宇宙ステーションに運ばれた後、あの宇宙飛行士の若田光一さんが日本の実験棟「きぼう」で実際に宇宙実験を行いました。同時に本校実験室でも同様の実験を行い、その違いを体感することになります。三月にはつくばのJAXA、このプロジェクトを企画運営しているSpace BDや本校の人工衛星を製作しているArk Edge Spaceを訪問する予定です。また、昨年四月に全校生徒が参加した人工衛星のミッション決定会では、和歌の上の句と下

の句を日本とアメリカそれぞれから国際宇宙ステーションに送り、短歌を完成させた上で地上に送り返すミッションが最優秀賞となり、衛星名も投票で「YODAKA」に決まりました。令和六年初頭には、本校独自の人工衛星が種子島かアメリカ合衆国で打ち上げられ、その後、人工衛星の運用についても学校全体で関わっていく予定です。今回は2年間のプログラムですが、費用も含め、持続可能な形を工夫しながら百周年まで継続していきたいと考えております。

このプロジェクトを通じて、横断的な学びを経験し、非認知能力や起業家精神の育成を目指し、挑戦と失敗を繰り返しながら実践的な課題設定力や意思決定力を育んでいきます。自己認識・自己管理能力をベースとした宇宙飛行士に求められる8つの能力、言い換えればこれからの社会に貢献できる人材に求められる能力を育てていきます。「学ぶ力の育成」だけではなく、その礎となる「人間性の育成」も同時に大切にしていきます。

これらの取組は、花高生が大きな変革が求められるこれからの時代を「しなやかに生き抜くため、まさに「桜雲精神」や「黒橋魂」を兼ね備えた「りっぱな公民」となって、今までも同様に、それ以上に地域や国内外で活躍することを期待し取り組んでいくものです。

今後とも桜雲同窓生の皆様の母校花高への変わらぬご支援をお願い申し上げます。

支部だより

石鳥谷支部

三年ぶりの支部総会交流会

石鳥谷支部 支部長

高橋 康 郎 (29期)

石鳥谷中学校を卒業した同窓生を中心に会員構成している石鳥谷支部の令和四年度総会・交流会を令和四年七月二十九日(金)、石鳥谷地域内にある料亭で三年ぶりに開催いたしました。

三年ぶりの開催になったのは、新型コロナウイルス感染症拡大防止を考慮し、各種の集會等が危惧される状況があったため、開催を自粛していたものでしたが、六月に会長・理事長・事務局長等での協議において、「三年間も継続して集まらないと会員のつながりが薄くなる。総会だけでも集まる意義が少なくなるので、感染防止対策を可能な限り行って開催しよう。」という結論になり、今回は、各学年担当の形で協力をお願いしている幹事を中心にした少数に絞った形での開催となりました。

このため、例年と比較してかなり少ない人数となる十七名の参加となつてしまいましたが、同窓会本部から佐藤会長と小田島事務局員、母校から須川校長に多忙な中で出席していただきました。そして総会では、同窓会や母校の現在の状況を含んだ祝辞をしていただくことで、参加者は母校に思いを寄せる場とすることが

できました。

また、総会に先立った研修会では、「現在の花巻市の取り組み」と題して、花巻市が行っている各種事業等について、支部会員である八重樫副市長に講演をお願いし、花巻市が進めている各種事業の目的と詳細、今後の花巻市の進む方向などを学ぶことができました。

新型コロナウイルス禍の中での開催ということで、提案された議事がすべて原案可決された総会では、開会直後に行われる校歌斉唱が黙読となつたほか、その後の交流会の際に行っている応援歌披露も省略しました。

しかし、対策をとつた交流会とはいえず、静かすぎるとせつかくの交流が進まないこととなるため、今回は、始まりに、桜雲第十八期の音楽活動家で、岩手県民オーケストラの創立から現在まで在籍し、石鳥谷町芸術協会の要職を長年務められてきた菊池優子さんにチェロの独奏曲披露をお願いし、盛り上げていただきました。

出席者は母校に懐かしさを感じつつ、久しぶりの同窓生との再会を楽しみ、次回は、コロナ禍も収まって以前のような笑顔で語りあえる交流会開催を願いつつ、二時間ほどの集會を終えました。



表彰

●令和四年度春の叙勲・褒章

○佐藤 良介【33期】

旭日双光章 産業振興功勞
(花巻商工会議所副会長)

○高橋 光彦【34期】

瑞宝小綬章 教育功勞
(元公立高等学校長)

●令和四年度秋の叙勲・褒章

○瀬川 純【33期】

瑞宝小綬章 地方自治功勞
(元岩手県農林水産部長)

●花巻市市勢功勞者表彰

《産業功勞》

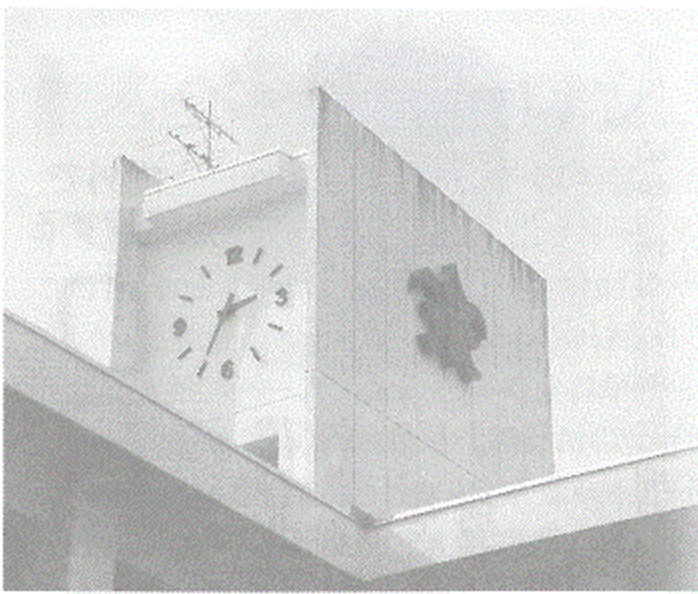
○佐藤 良介【33期】

(花巻商工会議所副会長)

《民生安定功勞》

○畠山 良彦【35期】

(前花巻市歯科医師会会長)



東京桜雲会

年次総会・懇親会開催

東京桜雲会 事務局長

及川 尚人(38期)

令和4年度の東京桜雲会(花巻北高等学校同窓会東京支部)の年次総会・懇親会は、10月23日(日)、御茶ノ水の東京ガーデンパレスにおいて2年9か月ぶりに開催されました。新型コロナウイルス感染症拡大に翻弄され、開催延期、中止を何度か経て、今回やっとのことで開催することができて本当に良かったと思えました。受付開始(午前11時30分)から12時までの間、一昨年10月に開催された花巻北高等学校創立90周年記念式典の模様(要約版)を会場内のプロ



ジェクターで放映して、式典の雰囲気味わって頂きました。

21期の大先輩から86期の後輩まで総勢63名のご参加で、今回も「年代を越えた花巻北高同窓の仲間の強い絆」を実感した会となりました。

全員での校歌斉唱から始まり、小原会長からのご挨拶。そして同窓会本部からご出席頂いた佐藤良介桜雲同窓会会長からのご挨拶。続いて須川和紀校長先生からのご挨拶並びに、この日のために作成されたリーフレット「花高百年の学び改革「百年生きる君たちが花高百年の学びを創る」」を使用していた文武両面にわたる花巻北高の近況報告を頂きました。

そして総会は、小原会長(議長)の司会のもとで3期分の活動報告、会計報告、そして役員選任(いずれも承認)と続き恙なく終了となりました。

懇親会は、嶋副会長のご発声による乾杯でスタート。そして、しばし会食、歓談。

今回は感染防止対策のため、マスク着用、着席形式(アクリル板設置)で実施。前回までの立食形式のように自由に交流はできませんでしたが、制限のなかで交流を図っていた頂きました。続いて恒例のお楽しみ抽選会と続き、関東在住の現役大学生の紹介、本人からの近況報告。続いてご出席の応援団幹部OBの先導で花高賛歌斉唱(フルコーラス)。

会場内は学生時代にタイムスリップして最高潮となりました。締めくくりに畠山副会長の手締

め(二本締め)で楽しく過ごしてきた東京桜雲会はお開きとなり、コロナ禍での開催は無事終了となりました。

今後も花巻北高等学校を卒業した仲間との交流を更に拡大発展・進化させ、母校の発展のお役に立てるよう努める所存です。

関西桜雲同窓会

第八回

関西桜雲同窓会のご報告

関西支部 支部長

藤井 勝(25期)

猛威を振るうコロナの影響で、第七回を令和元年六月に開催以降二転三転、その間に第二回以降使用の会場も閉鎖され、まず会場探しから始まりました。会員各位のコロナ禍に対する恐怖、心が静まるタイミングを計ること丸三年、漸く令和四年六月四日、ロイヤルホテル京都で開催の運びに漕ぎ着けました。

出席会員は当初予定の十八名から諸事情で二名欠席、ご来賓三名(本部長佐藤会長・須川校長・夏谷事務局長)の都合十九名での宴となりました。式次第は、写真撮影・亡くなられた方々(丸三年で四名)への黙祷・校歌斉唱に続き、当会の山折会長ご自身の近況から始まる含蓄に富む挨拶に始まり、本部長の佐藤様と母校校長の須川先生にご挨拶を戴き、支部長の諸報告・本部長事務局長の夏谷先生の音頭取りによる乾杯で一段落。その後、昼食・歓談の間を挟んで



会員各位の自由なスピーチの時間に入りましたが、なにせ三年ぶりとなつて楽しそうに語っておられました。皆さん聞きながらも、前もってお配りした「欠席の方々から頂いたメッセージ」(二十八通)を熱心に見ておられました。頃合いを見計らって、マスクを着用しての花高賛歌斉唱で閉めました。

コロナ禍の収まりきらぬ中、出席してくれた皆さんの楽しそうな声を聞き、欠席された方々の同窓会への想いを読み、次会も期待に応えたい心に駆られる一日でした。但し、今回は割高乍らコロナ対応に万全を期す為のロイヤルホテルでもっと安い場所を探すべく努力を要する事、同じく今回は日時を決定してから開催までの時間が少なく、関西在住の大学生達の出席が叶わなかったこと等、次回への課題を残しました。

内外で活躍する

O・B・O・G 紹介



花巻北高での3年間の思い出と卒業後の人生を振り返って

社会医療法人 嶺心会 札幌嶺心会病院
院長代行 脳卒中センター長

谷川 緑野 (45期)

子供の頃から物事の理解に時間がかかり、父からはよく「ぼんくらだ」と言われて育ちました。せつかちなくせに怠惰なので、ちよつと面倒くさいと、それを避けて通っていました。小学校に上がってからは足し算の繰り上がりで理解できず、でたらめな答えを記入して担任の先生に怒られたことを覚えています。3年生の夏休みは、両親にかなり発破をかけられ、算数の復習の問題集を朝から晩まで解き続け、2学期の通信簿はほとんど5が貰えるようになりました。この夏休みの特訓のお陰で、その後に必要な最低限の基礎学力が身についたように思います。

花巻中学校に入学してまもなくの進路相談で、両親の希望もあり医者になることを考えるようになります。1978年、花巻北高に入学。しかし問題はその後でした。盛岡一高を諦めたのが悪いと毎日のように父から叱責され、「東大医学部を目指せ、そのためには毎日寝ないで勉強しろ」と説教が始まる毎日。結局バスケットボール部を辞め、1年生の2学期以降は帰宅後8時間程度を自宅での学習に充てました。2年生になると、全校選挙で応援団幹部10名が選ばれました。バスケット部は辞めざるを得ませんでした。私も立候補し応援団幹部として全体のリーダーとして活動しようと思いましたが、当選後、3年生の幹部とともに新幹部の養成合宿が1週間の予定で組まれました。校舎の裏庭にある

桜雲会館に寝泊まりし、声出し、応援歌練習、応援旗振り練習を指導されます。夜は3年生幹部による生活指導があり、24時就寝2時起床で、また体育館で練習です。3時間で約2000回の旗振り練習は、ほとんど根性で耐える試練でしたが、これ乗り越えてこそ全校生徒の前でリーダーとして先頭に立つことができるのだと感じました。3年の夏は甲子園県大会応援のため、試合前日の夕方に学校を出発し県営球場まで徒歩で向かいました。高下駄で歩く負担は想像を絶するものでしたが、全員で道通歌や応援歌を歌いながら約45kmの道のりを歩き通しました。正に青春の思い出であります。学業では担任の佐々木勝男先生が励まし続けてくれて3年生後半の成績が伸び悩んでいる時にも「谷川なら絶対大丈夫だ！自分を信じて集中しろ」と鼓舞してくれました。先生のお陰で何とか現役で旭川医科大学に入学することができました。

高校1年のときに「CTスキャンにより脳の断面画像が見えるようになった」とテレビを見て、脳外科医になろうと決めていました。大学で臨床講義が始まり、脳神経外科の勉強の中で、特に脳血管の病気をバイパス手術で治療することに魅力を感じました。1988年3月に卒業、6月には医師国家試験に合格。翌日から母校の脳神経外科での初期研修が始まって、脳外科医としての人生がスタートしました。

最初の5年間は母校の脳神経外科医局の教授、先輩の先生方からの手術指導と研修を重ね、1993年からは北海道大学脳神経外科から旭川赤十字病院に赴任された。旭川赤十字病院に赴任された。旭川赤十字病院では脳卒中を主として治療し、「片田舎でも札幌や東京に勝るとも劣らない脳神経外科治療を受けられるように」との思いで、手術技術に磨きをかけて続けました。そのような活動を続けるうちに、2010年にはフィンランドのヘルシンキ大学脳神経外科から「ヘルシンキで世界の若手脳外科医に手術を教えてほしい」と依頼され、これがきっかけとなり、欧米を中心に「谷川緑野の手術を学びたい」という若手脳外科医が私のもとにやってくる状況になりました。2012年4月から

現在の嶺心会病院に赴任し、それからの約10年間で300人余の外国人が弟子入りしてくる状況となり、現在も3人が研修を行っています。昨年春に還暦を迎えました。あつという間に60年の人生が過ぎてしまいました。健康であれば更に若い脳外科医たちにも多くの財産を伝承できますので、これからも健康に留意したいと思っています。現役生の皆さん、花巻北高は伝統ある素晴らしい学校だと思います。「バンカラ校風や弊衣破帽はいわゆるファッションと同じだ」などは、私達の時代にも言われたことです。確かに10代の若者が最初からその精神を理解しようとしても、本当の意味で

旭川赤十字病院での2年間で、現在の脳外科医としての基本を叩き込まれ、1996年から網走脳外科病院へ赴任。そこで16年間脳外科医として全身全霊をかけて打ち込みました。2000年頃になると日本脳神経外科学会の中でも少しずつ名が知れるようになり、若手脳外科医が私の手術見学に網走まで来てくれるようになります。同じ頃、それまできちんと勉強したことのなかった頭蓋底手術を学ぶために、米国ノースカロライナの福島孝徳先生のもとに何度も足を運び、見学や手術訓練、学会出席などで頭蓋底手術の技術と知識を習得することに努めました。

は理解できないかもしれませんが、でもそれでもいいのです。バンカラに陶酔しようが、音楽に夢中になろうが、野球にサッカーに柔道に剣道に、一人ひとりが自分の心を磨き上げる一つの過程として、人生で一度きりしかない高校時代を大事に有意義に過ごすことが一番大切なことです。将来世の中に出て人の役に立つ人間になれるよう頑張っていきましょう。卒業しても心のどこかで校歌を口ずさみながら。

令和4年度「姉妹校 ASMSA 派遣事業」報告

本事業は、今年度で6年目を迎えました。今年度も花巻市国際交流室の方々と連携して、オンラインでの交流会を下記の通り実施しました。

第1回	令和4年4月27日(水)	参加生徒 14名
第2回	令和4年8月19日(金)	参加生徒 12名
第3回	令和4年10月28日(金)	参加生徒 15名
第4回	令和5年1月24日(火)	参加生徒 10名
第5回	令和5年2月21日(火)	参加生徒 10名

また、今年度は下記の通り、派遣事業を実施する予定です。

- ◆派遣期間: 令和5年3月8日(水)～3月17日(金)
- ◆派遣生徒: 1B 伊藤翔真、1B 宮崎一颯、2B 高橋樹里、2D 佐藤璃苑、2E 田頭佳子、2F 佐々木夢由羽
- ◆引率者: 多田昌弘

ASMSA 派遣事業の目的 本校に在籍する生徒を姉妹校である米国アーカンソー州 ASMSA に派遣し、授業参加、実習体験、文化交流などを行い、グローバルリテラシーを高めるとともに、本校生徒への環流を行う。

谷川緑野氏は、令和4年5月27日放送のNHK「プロフェッショナル仕事の流儀」で「極北のラストサムライ」脳神経外科医・谷川緑野」として取り上げられました。

スペースプロジェクト

「みなさんは、これから、世界で一番、宇宙に近い高校生になってもらいます。衛星を打ち上げるミッショングループの一員です。」3月に実施された(新1年生は4月)ミッション検討会ガイダンスの冒頭、Space BDの社員の方から、全校生徒に投げかけられたこのメッセージと共に、花巻北高校スペースプロジェクトの全容が明らかにされました。これは、花巻市の企業SPACE VALUE代表社員の安藤修一氏(35期)が発起人となり、Space BD株式会社を中心となりスタートしました。

このプロジェクトは、2024年初頭に打ち上げる本校独自の衛星の開発過程・運用を実践の場として活用し、全校生徒が2年以上にわたる宇宙に関する技術とビジネス両面での横断的学習の機会を得ることで、中長期で地域・産業活計化をリードする人材の育成を目指しています。今年度は、次の6つの取り組みを行いました。

(1) 衛星開発

本校独自のミッションを担う衛星の意義を議論し、内容を考え、開発から運用までを追体験します。4月26日、花巻市総合体育館にて行われた、衛星開発「ミッション決定会」では、全校生徒が考えた180を超えるミッションの中から審査員と生徒の投票によりNo.1が選出されました。それは、「短歌の上の句と下の句を衛星を用いて海外の姉妹校などとやりとりする」というものです。また、衛星の名前も生徒の投票から「よだか」と決まりました。

(2) Space BD プログラム(ワークショップ)

衛星開発と並行して、同じ工程に必要な要素や、宇宙飛行士に必要なスキルをワークショップを通して学びます。昨年12月には「開封ゲーム」、今年12月には「ブロックで自己理解」を実施しました。限られた材料と時間で、自分や友達の内面を表現し、他者へ伝える大変さや意外と知らない自分の内面がわかった生徒もいたようで、課題解決に向けて必要となる自己理解の大切さを感じ取る機会となりました。

(3) 東京大学プログラム

衛星開発の第一人者の講義を聴き、その先生のご指導の下、衛星

開発の一端である「CanSat」に今年の夏、全校生徒で取り組みました。

(4) 岩手医科大学プログラム

地上でのタンパク質結晶化実験を通して、大学での科学実験を体験しました。生徒たちが準備した試料を実際、国際宇宙ステーション(ISS)「きぼう」日本実験棟までロケットで運んで結晶化させてもらい、再び地球へ帰還させ、大阪大学の協力のもとSPring8という世界最高クラスの施設で分析し比較検討することで宇宙実験の重要性を学んでいます。

(5) ゲストスピーカー(講演会)

昨年12月にSpace BD(株)代表取締役社長の永崎将利様、また、9月に衛星開発会社代表取締役CEOの福代孝良様、CEO補佐の龍野瑛様をお招きし、宇宙ビジネスに挑む未知への挑戦を題材とした貴重なお話をお聞きました。

(6) キャリアプログラム

宇宙への輸送手段の提供と国際宇宙ステーション(ISS)をはじめとする宇宙空間の利活用のビジネスプランの検討や技術的な運用支援を提供する「宇宙商社Space BD(株)」の社員の方の高校時代から今に至るまでの多様な経歴を3回に分けて全学年でお聞きし、質疑応答するなど生徒自身のキャリアを考える機会になりました。

このようにいくつものプログラムは、2024年初頭の本校独自の衛星打ち上げを筆頭に、来年度も続きます。生徒たちがワクワクし楽しみながら参加することで、自分の将来設計と進路実現への一助となっていくことを希求しております。



令和4年度文化講演会 令和4年10月24日(月)

福井の普通の女子高生が、3年で全米制覇した奇跡



～笑顔の力・夢見る力～

講師
五十嵐 裕子氏
福井県立福井商業高等学校教諭

略歴：2004年福井商業高等学校に保健体育科教諭として赴任。2006年チアリーダー部JETSを立ち上げる。チーム結成からたった3年で全米大会初優勝。2009年から2020年の12年間で9回の全米大会優勝を成し遂げた。その軌跡が映画『チア★ダン〜女子高生がチアダンスで全米制覇しちゃったホントの話』やドラマ『チア★ダン』で描かれた。2020年4月一般社団法人チアドリームプロジェクトを設立し、代表理事を務める。

概要

自分は進学校出身で部活動より勉強優先の生活を送っていた。当時流行っていた学園ドラマに影響を受け、学校の先生になりたいと思っていた。大学卒業後、教員になり初任校で担任を務め、大奮闘。3年間担任した生徒が卒業する時、自分への通知表を書いてもらっ

たところ、頑張ってきたことが生徒たちに上手く伝わっていなかったことが分かり、がっかりしてしまった。そんな時、神奈川県立厚木高校のチアダンスをテレビで見て、「次はこれをやりたい!」と思った。

福井商業高校へ転任し、チアダンス部の顧問になった。生徒に全米大会で入賞を目指そうと呼びかけるも、生徒は反発。生徒の意欲を高めようと、一流の人々の本を読み漁り、試行錯誤しながら部員の心に火をつけていった。全国大会を視察して他のチームを見て学んだり、外部コーチを招いたりなどする中で、大きなことは一人では成し遂げられないため、出来るだけたくさんの人々の協力が大事であると感じた。

何かを成し遂げていくためには、素直な心を持ち、人から聞いたことをまずは行動してみることが重要。どの一流の本でも書いているが、本を読んでそれを実行する人は5%しかいない。部員達には、1人1冊夢ノートを作らせ、自分の夢を書かせている。人生が上手くいく人は明るい人。明るく振舞うことが大事であり、難しいことに取り組むときこそ笑顔で。

自分の座右の銘は「やってやれないことはない。やらずにできることはない。」様々な逆境の中、頑張ってきたのは、自分が小さいころから周囲の人の愛情を受けて育ってきたから。周囲の人への感謝の気持ちを持つよう、部員たちにも伝えている。

高校三年間は短い。部の名前「JETS」は、ジェット噴射のように生徒たちが活躍できるようにとの願いを込めてつけた。各自の心の中にある種火は何かきっかけで燃え上がる。出る杭は打たれ、出ない釘は腐ってしまうが、出すぎたら打たれない。ピンチはチャンスととらえよう。

皆さんは自分を応援しながら、周りの人も自分も好きになって下さい。そして良き時代を作る人になって下さい。

部活動報告 (県大会以上)

野球

第69回春季東北地区高校野球岩手県大会
1回戦 花巻北6-4花巻南 ※ベスト16
2回戦 花巻北0-3福岡 ※ベスト16

サッカー

第74回岩手県高等学校総合体育大会
1回戦 花巻北3-0一関高等
2回戦 花巻北0-7花巻東

ソフトテニス

第74回岩手県高等学校総合体育大会
【男子団体】 1回戦 花巻北0-3千厩
【男子個人】 菅原・及川 1回戦敗退

陸上競技部

第74回岩手県高等学校総合体育大会陸上競技
【男子】やり投げ 2位 三浦鉄生 東北大会出場
【女子】500mW 4位 吉田春莉 東北大会出場

ハンドボール

第74回岩手県高等学校総合体育大会
【男子】 準優勝
2回戦 花巻北 40-13 花巻南

バスケットボール

第74回岩手県高等学校総合体育大会
【男子】 2回戦敗退
【女子】 2回戦敗退

バレーボール

第74回岩手県高等学校総合体育大会
【男子】 2回戦敗退
【女子】 2回戦敗退

卓球

第74回岩手県高等学校総合体育大会
【男子】 1回戦 花巻北0-2不来方
【女子】 1回戦 花巻北0-2不来方

水泳

第74回岩手県高等学校総合体育大会
【男子】 200m自由形 和賀 結
【女子】 200m自由形 和賀 結

ハンドボール

第74回岩手県高等学校総合体育大会
【男子】 準優勝
2回戦 花巻北 40-13 花巻南

バスケットボール

第74回岩手県高等学校総合体育大会
【男子】 2回戦敗退
【女子】 2回戦敗退

バレーボール

第74回岩手県高等学校総合体育大会
【男子】 2回戦敗退
【女子】 2回戦敗退

卓球

第74回岩手県高等学校総合体育大会
【男子】 1回戦 花巻北0-2不来方
【女子】 1回戦 花巻北0-2不来方

水泳

第74回岩手県高等学校総合体育大会
【男子】 200m自由形 和賀 結
【女子】 200m自由形 和賀 結

ハンドボール

第74回岩手県高等学校総合体育大会
【男子】 準優勝
2回戦 花巻北 40-13 花巻南

バスケットボール

第74回岩手県高等学校総合体育大会
【男子】 2回戦敗退
【女子】 2回戦敗退

バレーボール

第74回岩手県高等学校総合体育大会
【男子】 2回戦敗退
【女子】 2回戦敗退

卓球

第74回岩手県高等学校総合体育大会
【男子】 1回戦 花巻北0-2不来方
【女子】 1回戦 花巻北0-2不来方

水泳

第74回岩手県高等学校総合体育大会
【男子】 200m自由形 和賀 結
【女子】 200m自由形 和賀 結

ハンドボール

第74回岩手県高等学校総合体育大会
【男子】 準優勝
2回戦 花巻北 40-13 花巻南

バスケットボール

第74回岩手県高等学校総合体育大会
【男子】 2回戦敗退
【女子】 2回戦敗退

バレーボール

第74回岩手県高等学校総合体育大会
【男子】 2回戦敗退
【女子】 2回戦敗退

卓球

第74回岩手県高等学校総合体育大会
【男子】 1回戦 花巻北0-2不来方
【女子】 1回戦 花巻北0-2不来方

水泳

第74回岩手県高等学校総合体育大会
【男子】 200m自由形 和賀 結
【女子】 200m自由形 和賀 結

ハンドボール

第74回岩手県高等学校総合体育大会
【男子】 準優勝
2回戦 花巻北 40-13 花巻南

バスケットボール

第74回岩手県高等学校総合体育大会
【男子】 2回戦敗退
【女子】 2回戦敗退

バレーボール

第74回岩手県高等学校総合体育大会
【男子】 2回戦敗退
【女子】 2回戦敗退

卓球

第74回岩手県高等学校総合体育大会
【男子】 1回戦 花巻北0-2不来方
【女子】 1回戦 花巻北0-2不来方

水泳

第74回岩手県高等学校総合体育大会
【男子】 200m自由形 和賀 結
【女子】 200m自由形 和賀 結

弓道部

インターハイで得たこと

三年 小原 啓華

私はインターハイに出場し、弓道の難しさを痛感するとともに弓道の楽しさも改めて実感することができました。そして何より仲間との存在の偉大さを感じました。全国の舞台で初めて個人として戦う中で、自分一人での向き合うことに最初は不安と恐怖がありました。そこで自分が仲間をどれだけ信頼し、頼りにしていたのか重く実感しました。そこに気付けたからこそ、インターハイでは自分の力も弓道に対する思いもすべてぶつけることができました。

全国の舞台で戦う中で気づけたこと、感じた空気感は今後必ず糧になると思います。今まで支えてくださったみなさん、本当にありがとうございました。



アーチエリー部

インターハイを通して

三年 佐藤 和奏

私が高校一年生の時に掲げた目標の一つがインターハイに出場することでした。この目標を達成するために、何が足りないのか、それを補うためにはどうすれば

良いのか、など考え活動してきました。もちろんこうした自分自身の工夫も

大事ですが、やはり周りの方々のサポートがある上でのインターハイだと感じました。環境づくりだけでなく、精神的な面でも支えになりました。本番で緊張した時も応援の一つ一つが力になり、自信を持って行動する事が出来ました。

今まで支えて下さった先生方、コーチの方々、家族や友達、そして一緒に頑張った仲間には感謝しかありません。三年間本当にありがとうございました。



硬式テニス部

諦めないことの大切さ

三年 藤井 菜名

昨年8月大阪で開催された全日本ジュニア選手権大会U18の部に、一昨年に続きシングルス、昨年はダブルスでも出場を果たす事が出来ました。

一昨年春の全国選抜大会を共に戦った先輩方が引退され、練習環境が大きく変わった中で工夫しながら練習に取り組みましたが、目標にしていたインターハイ、国体出場は残念ながら逃してしまいました。3年生のプレッシャーから思うようにテニスができなく辛いと思うことも多かったですが、最後の最後

で全国大会出場を果たす事が出来ても嬉しかったです。諦めないで取り組むことができたのはコーチをはじめ支えていただいた多くの方々のおかげです。本当にありがとうございました。



陸上競技部

初めての全国大会

二年 三浦 鉄生

僕は10月にJOCジュニアオリンピックのU18男子やり投げに出場しました。結果は自己ベストを更新して13位でした。

初めての全国大会でも緊張しましたが、落ちていて自分のパフォーマンスができたと思います。8月に肘を痛め、ともに投てきの練習ができていなく、不安な気持ちが大きかった状況でこのような結果を残せたことはとても自信になりました。この大会を通して、全国の選手との体



格やパワーの違いが明確になったので残りの半年でその差を埋め、インターハイと国体で8位入賞できるように頑張りたいです。

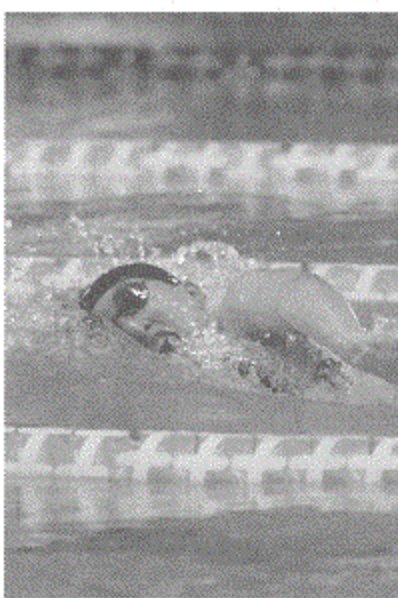
水泳部

支えに感謝

一年 和賀 結

私は、8月15日から18日に高知県高知市くろしおアリーナで行われた全国高等学校総合体育大会水泳競技大会に100メートル・200メートル自由形の東北代表として出場してきました。まず、私の目標は予選会で順位ではなく標準記録を突破して全国の舞台に立つことでした。そして、今回その目標を達成できたことを嬉しく思います。結果としては納得のいくものではなかったため、自分の課題について見直し、日々成長できるように努力していきます。

最後に、私がこの素晴らしい舞台に立つことができたのは多くの方々の支えがあったからです。本当にありがとうございました。



文芸部

思いを紡ぐ

三年 八重樫 怜

八月二日、四日、渋谷区の聖心女子大

学で行われた第四六回全国高等学校総合文化祭東京大会の文芸部門に、短歌の岩手県代表として参加しました。

私が今回の大会で印象に残ったのは、初日に行われたコースごとの文学研修です。岩手県代表が参加するコースでは、森鷗外記念館と東京大学附属図書館を見学しました。東京大学附属図書館では、貴重本の書庫や開架図書室、東大生が勉強している研修室など様々な施設を見学しました。その後、館長さんから東京大学に寄贈された森鷗外文庫についてご講演いただきました。

二日目は短歌部門の交流会がありました。事前に提出した短歌について、審査員の先生方から講評をいただき、さらに、その場で与えられた題詠を行い、短歌を模造紙に書いて貼りだし、全国の各都道府県を代表して参加した高校生の皆さんと意見交換を行いました。自分の短歌に込めた情景や思いを語り、互いに感想を述べるといった交流は、新たな価値観に出会い、文学世界を拓く体験になりました。昨年、今年と二回の全国高文祭への参加は大きな成長の契機になりました。今まで支えていただいた先生方、家族や友人、そして、一緒に活動してきた仲間、心から感謝いたします。皆様、三年間本





が一層栄えることを切に願っている。

応援団が、最も大切にしていること、そして後輩たちに伝えたいことは、「応援をした、応援をする」という心構えだ。このことを忘れず、厳しい応援歌練習を黒橋魂で乗り切り、これからの花巻北高校が一層栄えることを切に願っている。

代応援団という組織を背負ってきた。応援団が、最も大切にしていること、そして後輩たちに伝えたいことは、「応援をした、応援をする」という心構えだ。このことを忘れず、厳しい応援歌練習を黒橋魂で乗り切り、これからの花巻北高校が一層栄えることを切に願っている。

改善しながら取り組んできたつもりだ。また、九十周年という節目からの一歩が、これからの花巻北高校にとって大切な、重要なものになれるように努めると共に、これからこのよき伝統がさらに発展していくために、応援団から生徒に歩み寄り、生徒一人一人と協力し、支え合い、九十一代応援団という組織を背負ってきた。

合いながら、今の時代に合わせ、よりよく改善しながら取り組んできたつもりだ。また、九十周年という節目からの一歩が、これからの花巻北高校にとって大切な、重要なものになれるように努めると共に、これからこのよき伝統がさらに発展していくために、応援団から生徒に歩み寄り、生徒一人一人と協力し、支え合い、九十一代応援団という組織を背負ってきた。

九十一代応援団を終えて
第九十一代応援団長
三年 大家 虹輝

心援助
九十一代応援団を終えて
第九十一代応援団長
三年 大家 虹輝

当にありがとうございます。

令和4年度入試(令和3年度卒業生)の進路状況

令和3年度卒業生は、「大学入学共通テスト」の2年目の挑戦を、継続するコロナ禍で迎えました。本校は、卒業生244名中ほぼ全員が令和4年度共通テストに挑みました。その結果、国公立大学4年制大学に合格した者は、実数で147名(60.2%、昨年度58.1%)、のべ合格者数が154名でした。昨年度より十数名合格者が増加し、合格率は52.0%と昨年度同様の結果となりました。2年目の共通テストは、全国的には「数学ショック」といわれる難化となり、岩手県全体においても国公立大学合格者が減少しました。そのなか東北大学合格者10名をはじめ、地元の岩手大学合格者43名(過去10年で最高)と、生徒は非常に健闘してくれました。また、昨年度に引き続き、すべての選抜方式に対応できる学力と人間力を身につけることを目指し、国公立大学、私立大学、就職など、どの進路先に対しても対応し、将来の夢に向かう生徒を育成することを念頭に、進路指導に取り組みました。

創立90周年スローガン「百年生きる君たちが、花高百年の学びを創る」のもと、大きな成果を挙げることができたと感じております。これらのことは、ひとえに同窓会の皆様のご支援があつてことと感謝しております。今後とも創立100周年に向けて邁進する本校に対して、ご鞭撻のほどをお願い申し上げます。(進路指導主事 八尾 晃一)

令和4年度入試(令和3年度卒業生)合格状況

(1) 国立大学

学校名	R4年度	
	現役	過卒
北見工大		(2)
北教大函館校	6	
弘前大	6	
岩手大	43	(1)
東北大	10	
宮城教育大	3	
秋田大	6	
山形大	3	
福島大	2	
茨城大	3	
筑波大	2	
宇都宮大		(1)
埼玉大	6	
千葉大	2	
東京海洋大	1	
東京学芸大	1	
上越教育大	1	
新潟大	3	
静岡大	2	
奈良教育大	1	
岡山大	1	
小計	102	(4)

(2) 公立大学

学校名	R4年度	
	現役	過卒
札幌市立大	2	
釧路公立大	2	
名寄市立大	3	
青森県立保健大	1	
青森公立大	1	
岩手県立大	16	
宮城大	1	

(3) 私立大学

学校名	R4年度	
	現役	過卒
秋田県立大	1	
秋田公立美術大	1	
前橋工科大	1	
群馬県立女子大	1	
高崎経大	6	
東京都立大	1	
神奈川保福大	1	
横浜市立大	1	
新潟県立大	1	
山梨県立大	1	
都留文科大	7	
長野大	1	
芸術文観光職大	2	
名桜大	1	
小計	52	
国公立大現役総数	154	
国公立大現役実数	147	

現役合格者(過卒合格者数)

東北福祉大	12
東北医薬大	4
宮城学院女子大	6
仙台白百合女子大	1
尚絅学院大	3
秋田看護福祉大	3
東北芸術工大	5
茨城キリスト大	1
つくば国際大	2
国際医療福祉大	4
自治医科大	1
白鷗大	1
高崎健康福祉大	1
埼玉工大	(3)
東京国際大	2
城西大	1
獨協大	1
文教大	8
淑徳大	1
千葉工大	1
秀明大	2
和洋女子大	2
千葉科学大	1
亀田医療大	1
青山学院大	1
桜美林大	2
北里大	5
共立女子大	2
杏林大	1
国土館大	5
駒澤大	2
芝浦工大	4
順天堂大	1
上智大	1
昭和大	1

(4) 国立短期大学

学校名	R4年度	
	現役	過卒
白百合女子大	1	
成蹊大	1	
創価大	1	
大正大	6	
拓殖大	1	
大東文化大	2	
中央大	4	
帝京大	3	(1)
東海大	4	
東京医療学院大	1	
東京工科大	1	
東京電機大	5	
東京都市大	3	
東京農大	5	
東京聖栄大	2	
東洋大	5	
日本大	11	(2)
日本工大	1	
日本獣医生命科学大	4	
武蔵大	1	
武蔵野大	1	
明治大	2	
明治薬科大	1	
明星大	1	
立正大	2	
麻布大	2	
神奈川大	2	
産業能率大	1	
新潟医療福祉大	4	
金沢工大	1	(1)
名古屋経大	1	
立命館大	1	
大手前大	1	
小計	299	10

(5) 私立短期大学

学校名	R4年度	
	現役	過卒
岩手県大宮古短	2	
岩手県大盛岡短	3	
大月短大	2	
会津大短大部	2	
小計	9	0

(6) 文部科学省所管外

学校名	R4年度	
	現役	過卒
盛岡大短大部	3	
小計	3	0

(7) その他

学校名	R4年度	
	現役	過卒
専門・各種学校	13	
うち高看	5	
公務員	1	
小計	14	0

(8) 医学部医学科合格者数

学校名	R4年度	
	現役	過卒
医学部医学科	3	(1)

※過卒合格者については学校に連絡があった者のみ

同窓会費納入状況

(令和4年12月31日現在)

期(卒業年)	残額(円)	期(卒業年)	残額(円)
31(昭和42年)	完	46(昭和57年)	360,000
32(昭和43年)	完	47(昭和58年)	完
33(昭和44年)	完	48(昭和59年)	完
34(昭和45年)	完	49(昭和60年)	360,000
35(昭和46年)	完	50(昭和61年)	完
36(昭和47年)	完	51(昭和62年)	完
37(昭和48年)	完	52(昭和63年)	450,000
38(昭和49年)	完	53(平成元年)	490,000
39(昭和50年)	完	54(平成2年)	150,000
40(昭和51年)	完	55(平成3年)	510,000
41(昭和52年)	完	56(平成4年)	250,000
42(昭和53年)	410,000	57(平成5年)	510,000
43(昭和54年)	完	58(平成6年)	160,000
44(昭和55年)	完	59(平成7年)	510,000
45(昭和56年)	完	60(平成8年)	510,000

※「卒業年」は、その年の3月卒を表します。(残額合計 4,670,000円)

同窓会費納入のお願い

桜雲同窓会は、同窓生の皆様に納めて頂いている会費と、在校生の入会金によって運営されております。少子化による生徒数減少が続くと、同窓会事業の運営にも支障が生じる恐れが考えられます。

今後の同窓会運営のために、各期理事を中心に、会費納入の仕組み、現状を周知して頂き、会費の納入に特段のご協力をお願いいたします。完納した期や会費を納入していただいた期は、同期会開催の際に会費納入に協力いただき、欠席の方には代表幹事宛に送金をしていただく等、工夫をされています。なお、今年度は各期からの会費納入

会費納入の仕組み

- ・卒業時に一人当たり、三千元を入会金として納入。(すべての期が完納)
- ・卒業後六年経過した時点より、各期年会費一万円を五十二年間納入。
- ・【桜雲61期以降】在学中に完納。(学年諸会費と一緒に納入)

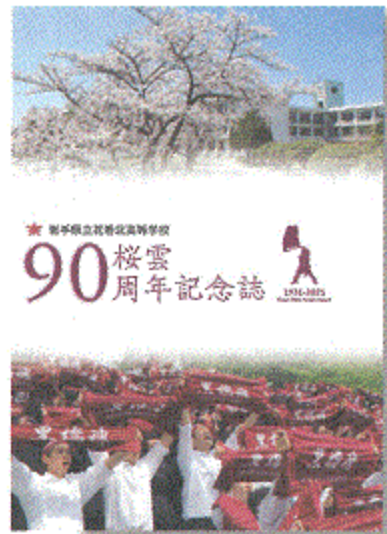
はありませんでした。趣旨ご理解の上、皆様のご協力をお願いいたします。桜雲同窓会事務局

この10年のあゆみと 創立百年に向けて伝えるべきもの

桜雲 90周年記念誌

A4版152ページ 2022(令和4)年3月発刊
【価格】3,000円(送料込み)
【お申し込み】桜雲同窓会事務局

1. 歴史の振り返り/校史
2. 10年のあゆみ/座談会1・2・3/生徒活動10年史/コロナ禍における応援団活動
3. 百年に向けて/花高百年の学び改革/花高の伝統と応援団/資料編



寄贈のご紹介

- 浅井喜弥子氏(39期) 絵画1点
- 千葉剛氏(29期) 『PHOEBUS 第16号』『大谷翔平選手会見記』千葉剛(法政英語英米文学研究会) 楽譜『Ravine ユーシン(幽神)』
- 熊谷司郎氏(28期) 寄贈楽譜は熊谷先生が旋律作曲された作品で本校吹奏楽部に捧げられたものです。
- 齊藤毅憲氏(25期) 『横浜市立大学論叢 第73巻社会科学系第1号』(横浜市立大学学術研究会) 『横浜市立大学論叢 第73巻社会科学系第2・3合併号』(横浜市立大学学術研究会)
- 谷村久雄氏(32期) 『生きる目的を知らう』谷村久雄(ツワンライブ出版)



最新 2019 桜雲同窓会員名簿

令和元年11月1日発刊

【価格】8,000円(送料込み)

お申込み

【桜雲同窓会事務局】
花巻北高等学校内 TEL.0198-23-4134
【業務委託先】
㈱菊忠印刷 TEL.0198-42-2511

- ◎夏谷健一 教諭(42期・公民)
- 照井雅巳 教諭(49期・理科)
- 菊池雄一 事務長(50期・事務)
- 高橋利一 教諭(58期・国語)
- 小田智和 教諭(59期・英語)
- 藤枝子利 教諭(60期・体育)
- 多田覚子 教諭(64期・英語)
- 古川昌弘 教諭(71期・事務)
- 小原摩尚 教諭(76期・国語)

今年度、菊池雄一事務長(50期)、古川摩耶主事(71期)を迎え、一年間活動して参りました。八月六日の桜雲同窓会定期総会には多数の同窓生の出席を頂き、また46期の眞下卓也氏(株式会社岩手放送代表取締役社長)の講演では「IBCのこれから」と題してお話を頂きました。支部総会も関西、石鳥谷、東京支部とそれぞれの地区で行われ、活況のようすぎました。

今後、三年ぶりに実施されるASSM S A海外派遣事業をはじめ、様々な事業が計画されていますが、同窓会としても協力していきたいと考えております。来年度も引き続きご支援ご協力のほどよろしくお願いたします。

令和四年度 桜雲同窓会事務局(◎は事務局長)

事務局だより

桜雲同窓会 定期総会

令和5年8月5日(土)
午後2時
ホテルグランシエール花巻

昨年5月27日に放送された、NHKプロフェッショナル仕事の流儀に、母校45期で応援団長だった谷川緑野さんが「世界中から執刀依頼が来る脳外科医」ラストサムライ」として取り上げられました。彼の同級生たちに聞くと、高校時代から硬派でストイックな人だったとのこと。放送ではその苛烈な仕事ぶりが紹介されていましたが、その合間になんと花巻北高の応援団を振る姿が映し出され、感動を覚えるとともに、改めて私自身も母校への誇りを感じる事ができました。そんな谷川さんをリスペクトし、感謝しつつ、今号の「OB・OG紹介」原稿をお願いすることになりました。ちなみに谷川さんは母校在学中、私の声楽部の後輩に当たります。後輩とはいえ、その活躍は心から尊敬します。

他にも素晴らしい功績を残されている方、各界で実績を挙げられている方など、尊敬すべき母校OB・OGがたくさんいます。そして私自身もそんな方々にモチベーションをたくさんいただいています。今後必ずすべての先輩・後輩のご活躍を応援しながら、現役生や若い同窓生が憧れ、目標にしてもらえるOB・OGを紹介していきたいと考えています。

「桜雲」編集長 北山公路(43期)

編集後記